

第七十六回
帝國議會
貴族院

人造石油製造事業法中改正法律案特別委員會會議事速記録第三號

昭和十六年二月二十七日(木曜日)午前十時二十四分開會

○委員長(男爵渡邊汀君) ソレデハ只今カラ開會致シマス、御諮ラ致シマス、昨日午前ニ岩倉男爵ガ質問ヲサレマシタノデアリマスガ、其ノ中ニ數箇所政府當局カラ之ヲ速記ニ表ハシテハ困ルト云フ御申出ガアリマシタ、ソレデ適當ニ其ノ點ヲ抹殺シタイト云フ政府カラ申出ガアリマシタ、岩倉男爵ハ適當ニヤツテ吳レト云フ御諒解ガアツタノデアリマス、尙其ノ外ニ此ノ岩倉男爵ノ質疑ニ關聯致シマシテ其ノ他二三ノ方カラ御質問ガアツタ中ニ、矢張り數點速記ニ載セテ工合ノ惡イ所ガアルト云フコトデ、ソレモ速記カラ抹殺ヲシテ載キタイト云フ申出ガアリマシタ、ソレニ付キマシテ若シ御異存ガナケレバ委員長ト政府當局ト能ク相談ヲ致シマシテ、其ノ點ヲ速記カラ抹殺シタイト思ヒマス、如何デセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵渡邊汀君) 御異議ナイトモノト認メマス、委員長ノ方デ適當ニ政府當局ト相談致シマシテ速記カラ抹殺致シマス
○子爵河瀬眞君 私ハ此ノ「アルコール」ニ付キマシテ少シ伺ヒタイト思フノデアリマス、「アルコール」ハ甘藷、馬鈴薯カラ採ルヲ主ニシテ居リマスケレドモ、今年ハ新規要求トシテ農林省カラ食用澱粉原料用、無水「アルコール」原料用、ソレ等ニ對シテ五百五十二萬圓餘ヲ請求シテ居ルヤウデアリマス、ソレデ此ノ大部分ハ私ハ「アルコール」

ダラウト斯ウ考ヘル、此ノ「アルコール」ハ大正十三年六月十一日ニ燃料協會デ大藏省專賣局技師農學博士黒野勘六ト云フ人ガ「アルコール」ニ付テ講演ヲシテ居ル、之ヲ見マスルト云フト、「アルコール」燃料ト云フモノヲナゼ之ニ入レルカト云フト、「ガソリン」ガ少イカラ「アルコール」ヲ此處ヘ「ブレンド」スルノダ、サウシテ其ノ「アルコール」ハ無水「アルコール」デヤルト云フトハ、ソレ自體農村ノ振興策ニ重大意義ガアルト云フトガ主ノヤウデゴザイマス、ソレデ此ノ計畫ヲ見マスルト云フト、昭和十六年度ニハ「アルコール」ヲ百八萬石造ルト云フ豫定ニナツテ居リマス、恐ラクハ、此ノ通り行ツテ居マイト思ヒマス、ソレデ此ノ「アルコール」ハ薩摩薯デアリマス云フト、澱粉含有量ガ二十五「パーセント」、馬鈴薯デハ十七・五「パーセント」デアリマシテ、「アルコール」生産歩留リハ理論數ノ八十「パーセント」トスルト云フト、百八萬石ト云フハ、三億五千六百萬貫、是ハ甘藷ニシマシテ……馬鈴薯ニシマスト五億五千萬貫ト云フ素敵モナイ數量ナンデアリマス、是ガ全部「アルコール」ニ行ツテシマフ、ソレデ此ノ「アルコール」ヲ「ガソリン」ニ入レルト云フトハ昔カラ我々ガ主張シテ來タノデアリマス、其ノ當時ニ於テハ食糧問題ガ關係ガナカッタ、食糧問題ト云フモノハ寧ろ減段問題迄起キタヤウナ時代モアリマシテ、白米サヘ「アルコール」ニシヨウカト云フ議サヘ起ツテ、要スルニ食糧問題ヲ顧慮セズニ甘藷

馬鈴薯ト云フモノヲ使ツテ宜イ時デアッタ、併シ現在ハ食糧問題ガ大變大切ニナツテ來テ居リマス、之ヲ若シ「アメリカ」トノ戰爭ナド起ツタト假定シマス、日本ノ食糧、穀類ハ到底不足デスカラ、是ハ佛領印度支那トカ、タイカラ持ツテ來ナケレバナラス、持ツテ來ルト云フトニナルト大輸送船隊ガ要ル、此ノ輸送船隊ヲ軍艦驅逐艦護衛シタ所デ損害ガドノ位アルカト云フトハ、歐洲大戰ノ場合ヲ考ヘテ見テ想像ガ付クノデアリマス、要スルニ損害ガ相當アルト云フトコトヲ覺悟シナケレバナラス、サウスルト早速此ノ食糧問題ニ脅カサレルト云フトニナル、昔ハ腹ガ減ツタラ薩摩薯ヲ食ツテ居レト言ヒマシタガ、此ノ節ハ何處ヘ行ツタツテ薩摩薯ナドハアリマセス、此ノ薩摩薯或ハ馬鈴薯ハ穀類ニ次イデ食糧品デアリマス、ソレガ多量ニ潰サレテ無水「アルコール」ノ方ヘ現在行ツテ居ル、是ハ現在トシテハ仕樣ガナイ、「ガソリン」ガ少イカラドウシテモ過ギ道トシテハサウアルベキダト思ヒマス、併シ是ハ漸次「アルコール」ヲ「ガソリン」ノ中ヘ「ブレンド」スルコトハ段々止メテ行ツテ、他ノ瓦斯燃料トカ、サウ云フ風ナ他ノ燃料ヲ以テ或ハ「コーク」ノ瓦斯、或ハ木炭、薪、ソレ等ヲ以テ段々ニ代換シマシテ、此ノ「アルコール・ブレンド」ト云フトハ徐々ニ止メルヤウニサレタラドウカ、サウ考ヘラレルノデアリマス、ソレデ幸ニ政府ハ官業ニ於テ此ノ無水「アルコール」ノ工場ヲ置イテ居ル、從ツテ此ノ伸縮ハ裕リガ出

來ルノデアリマス、止メテモ民間ノ場合ト違ツテ融通ガ利クノデアリマス、段々サウ云フ風ニ燃料ノ問題ハ轉換スベキモノダト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマスガ、政府ハドウ云フ風ニ之ヲ御考デアリマスカ

○政府委員(花田政春君) 只今河瀬子爵ノ御尋ニナリマシタ「アルコール」ノ專賣ノコトデアリマスガ、「アルコール」ノ專賣ノ方ノ關係ダケヲチヨット御説明致シテ置キタイト思ヒマス、只今御述ニナリマシタ通りニ、戰時ニ於ケル食糧確保ノ重要デアルト云フトコトハ申上ゲル迄モナイコトデアリマシテ、食糧農産物デアアル甘藷、馬鈴薯ヲ主原料トスル「アルコール」ノ生産數量ヲ段々減シテ、之ニ使用シテ居ル甘藷及馬鈴薯ヲ食糧ニ振り向ケルト云フトハ御話ノ通り食糧補給策トシテハ一應考ヘラレル方策ダト思ヒマス、サウ云フ關係ニ於キマシテ食糧問題ト「アルコール」ニ使用シマス原料ノ甘藷、馬鈴薯ト云フモノトノ關係ニ付キマシテハ、從來ニ於キマシテモ個々ノ產地ニ於テハ食糧需給ノ關係ヲ考慮シテ、食糧不足ノ虞アル府縣ニ對シマシテハ關係地方當局トモ協議ノ上ニ「アルコール」製造數量ト云フモノヲ一部又ハ全部ヲ減ジテ居ルノデアリマス、併シ今御話ノ通りニ他面「アルコール」ガ現在ノ狀態ニ於キマシテ液體燃料トシテ内地ニ消費セラレテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマシテ、只今ハ内燃機關用ノ揮發油ノ總需要量ニ對シマシテ約十五「パーセント」ノ混入ヲ實施シテ居ルノデアリマス、之ノ

數量ヲ減少スルコト云フコトニ付キマシテハ相當現在ノ交通狀態ヲ維持スルコト云フコトニ於キマシテ必要デハナイカト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、又其ノ外ニ直接間接ニ軍需ヲ致シテ各種作戰資材ノ生産ノ爲ノ「アルコール」ヲ供給スルコト云フコトハ是亦避クベカラザルコトデアラウト存ジマス、結局是等ノ點ニ付キマシテハ食糧問題、ソレカラ燃料用、軍需用、工業用等ノ「アルコール」ノ供給ノ狀態、ソレカラ原料増産ノ狀況等、各般ノ事情ヲ考慮致シテ決定致サナケレバナナイコトカト考ヘマス、デ御話ノ通り專賣局トシテハ多量ノ原料用ノ甘諸ヲ使用スルノデアリマス、食糧問題トノ關係ヲ十分ニ考慮致シマシテ、甘諸、馬鈴薯以外ノモノ、例ヘバ菊芋トカ、蘇鐵ノ實トカ、團栗ノ實ト云フヤウナモノニ付テモ研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、又東京市ニ於キマシテハ塵芥カラ「アルコール」ヲ製出スル方法等ニ付モ研究ヲ致シテ、出來ルダケ食糧政策ヲ援助スルコト云フコトニ付テ考ヘテ居ル次第デアリマス、又製紙會社ノ「パルプ」ノ廢液カラ醱酵法ニ依リマシテ「アルコール」ヲ製造スル方法ガ樺太ニ於テ現ニ實行中ナノデアリマス、ソレカラ河瀨子爵ノ御示ニナリマシタ黒野技師ノ説明ニ依リマス、十六年度百八萬石、三億五千萬貫ノ甘諸ガ要ルト云フコトハ、是ハ御承知ノ通り「ガソリン」ノ消費規正ガ行ハレマシタノデ、現在ハサウ云フ多量ノ「アルコール」ノ製造ハ致シテ居リマセヌ次第デアリマス、從ヒマシテ現在使ッテ居リマスル甘諸ノ數量ト云フモノハ御示ノ數量ヨリ非常ニ少イ數量デゴザイマシテ、大體全體ノ甘諸ノ數量ノ中ノ十五「パーセント」位ヲ現在

使ッテ居ルノデアリマス、是ハ食糧政策ノ點カラ致シマシテ、從來ノ甘諸ニ喰ヒ込ト云フコトヲ成ルベク避ケテ、増産ヲシテ之ニ應ズルト云フコトニ農林省ト協議ヲ致シテ居ル次第デアリマス、又前申上ガマシタヤウニ是以外ノ原料ト云フモノハ或ハ價格ノ點ニ於キマシテ、或ハ數量ノ點ニ於キマシテ現在ノ甘諸程便利デアリ、或ハ安ク行カナイノデアリマシテ、差當リハ現在ノ「ガソリン」ノ供給ト云フ點カラ考ヘマシテ、甘諸ニ依ッテ製造シタル無水酒精ヲ「ガソリン」ニ混入スルコト云フコトニ致シテ行ク外差當リハ方法ガナイノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、
○子爵河瀨眞君 只今ノ御説明デ能ク分リマシタ、次ニ内務省ノ方ニ御伺ヒシタイノデアリマス、「ガソリン」ガ非常ニ近頃拂底シ、且之ヲ出來ルダケ「セーヴ」シナケレバナラスト云フコトハ是ハモウ當然デアリマス、併シ今日ノ時勢ニ於テ非常ナ色々ナコトガ龐大ニナリ、又事務ガ多端ニナッテ居ル、從ッテ又資材モ少クナル、斯ウ云フ時代ニハ交通量ト云フモノハ出來ルダケ増大スルト云フコトガ大切ト考ヘラレル、處ガ今申シタヤウニ「ガソリン」ハ少クナッテ居ル、ソレデスカラ之ヲ補フニハ何カ外ノモノデ補ッテ、色々ノ各種自動車ヲ運轉スルヤウニシナケレバナラスト考ヘラレルノデアリマス、ソレデ之ニ使ハレルヤウナモノハ何カ使ハレルカト云ヘバ今ヤッテ居ラレル木炭自動車、或ハ薪ヲ焚イテ居ル自動車、アレナドハモウ確カニ一法ダラウト思ヒマス、尙其ノ外ニ天然瓦斯、液化瓦斯、是ナドモ少イガ鬼ニ角使ッテ居リマス、石炭瓦斯ニ至ッテハ殆ド使ッテ居リマセヌ、併シ是等ハ何レ

モ皆使ハレルモノデ、又使ハレナケレバナラスト思ヒマス、サウシテ非常ナ忙シイ今日ノ仕事ヲ「スムーズ」ニ進メルヤウニシナケレバナラストモトスウ考ヘルノデアリマス、處デ液體燃料、固體燃料ノ方ハドウニカ行キマスガ、「ガス」體燃料ニナルト入レ物ガ要リマス、ドウシテモ入レ物ガナケレバ運ブコトガ出來ナイ、此ノ入レ物ニ付テハ内務省デ色々規定ヲサレテ居リマス、之ニ付テニ三御伺ヒシタイト思フノデアリマス、第一ニ此ノ「ガス」或ハ液化「ガス」等ヲ入レル入レ物ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、此ノ高壓容器ハ現在住友金屬株式會社及高壓工業容器組合、是ハ十一社デスガ、此ノ兩方デ容器ガ出來テ居リマスガ、處ガ住友デ拵ヘタ物ハ内務省デ使用許可サレマス、其ノ外ノ所ハ許可ニナラナイノデアリマス、規定試驗ニハ合格シテ居ル、規定試驗ニ合格シテ居ッテ此ノ高壓容器工業組合デ納メタ物ハ使用許可ニナラスト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレデソレ等ノ物ハ倉庫ニ積ンデアルト云フコトヲ聞クノデアリマス、果シテ事實デアリマスガ、内務省ノ方ニ伺ヒマス
○委員長(男爵渡邊汀君) 内務省ノ政府委員ノ御方ハオイデニナリマセヌ、ソレデ内務技手ノ中澤君ガ代ッテ説明致シタイト云フコトデアリマスガ、御差支ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○委員長(男爵渡邊汀君) 御異議ナシト認メマス、デハ……
○説明員(中澤秀一君) 説明致シマス、容器ノ歴史ヲ少シ御話シタ方ガ宜イノデヤナイカト思ヒマスガ、事變前迄ハ住友デ容器

ヲ專ラ造ッテ居リマシテ、アトハ一社カ二社ダケ容器ヲ造ル所ガアッタ譯デアリマスガ、爲替管理ノ關係デ容器ノ輸入ガ杜絶シマシタノデ、内地ノ需要ヲ賄フ爲ニ今迄外國ノ容器ヲ輸入シテ居リマシタ輸入業者ガ金ヲ貸シマシテ、内地デ國產ノ容器ヲ住友以外ニ造ルヤウニナッタ譯デアリマス、處ガ住友ト只今御話ノ十一社ノ工業組合ノ容器ノ製作ノ方法ガ異ッテ居ルノデアリマス、住友ノ方ハ鑄塊カラ一貫作業ニ依リマシテ初メカラ底ノ附イタ容器ヲ造ッテ居ル譯デアリマス、處ガ他ノ十一社ノ方ハ日本鋼管カラ石油ナドニ使ハレマス「パイプ」ヲ買ッテ來マシテ、其ノ兩端ヲ絞リマシテ容器ヲ造ッテ居ル譯デアリマス、當時ハ其ノ十一社ノ容器「メーカー」ガ造リマシタ容器ハ非常ニ災害事故ヲ頻發セシメタノデアリマス、尙又其ノ十一社ニ於キマシテハ普通燒鈍ト申シマス熱處理ヲシテ居ナカッタノデアリマス、ソレデ技術的ニ見マシテ非常ナ差異ガソコニアッタ譯デアリマス、處ガ一般ノ酸素トカ、「アレンモニア」トカ、鹽素ナドニ使ハレマス一般ノ容器ヲ耐壓試驗、壓潰試驗、延伸試驗ト此ノ三ツノ試驗ニ合格スレバ官廳デ容器證明書ヲ發行シテ居ッテ譯デアリマス、自動車用ノヤツハ外國ノ例デ見マスト全部「ニッケル」「クロム」「モリブデン」ノ入ッテ特別鋼デ、詰リ「バイブラック」ノ容器ヲ使ッテ居ル譯デアリマス、今迄壞レタ例ハナイノデアリマスガ、「ドイッ」ノ大學教授ノ研究ニ依リマスト、破壞シタ場合ニ破片ニナラナイト言ハレテ居ルノデアリマス、處ガ炭素鋼カラ造リマシタ容器ハ、天然「ガス」ナドヲ詰メマスヤツハ百五十氣壓ガ常用デアリマスガ、是ハ破壞シタ場合破片ニナルノデ

アリマス、詰り小破片ニナッテシマフノデア
リマス、其ノ破片ハ大體今迄ノ例デ申シマ
スト、最モ遠方ニ飛ンダノハ二三町位飛ン
デ居ルノデアリマス、御話ハ變リマスガ、
最近非常ニ其ノ十一社ノ方ニ於キマシテ段
段資金モ出來マスシ、技術者モ採用シマシ
テ、非常ニ良心的ナ製作ヲ致シマシテ、段
段ト進歩シテ參リマシタノデ、目下住友以
外ノ詰リ十一社ノ工業組合「メーカ」ノ中
ノ最優秀ナル二社ニ對シテ「ガス」自動車用
容器ヲ造ッテ宜カラウト云フコトヲ大體申
シテ居リマスカラ、來月頃カラソレガ市場
ニ出ルノデヤナイカト思ッテ居リマス

○子爵河瀬眞君 サウスルト内務省ノ御出
シニナリマシタ取締施行令ト云フヤウナ試
驗法ガアリマスガ、今ノハ認定デオヤリニ
ナッテ居ルヤウデアリマスガ、試驗法トハド
ウ云フ關係ニナリマスカ、試驗ニ「ガス」シテ
居ッテ、ソレヲ内務省ガ許可セヌノハ私ハ腑
ニ落チナイ、熱處理ガシテナイト云フコトナ
レバサセバ宜イ、ソレト試驗ニ合格シテ
居ラスト言ハレルナラバ其ノ點迄御命ジニ
ナラナケレバ、唯認定的ニ斯ウ云フ規則ヲ
運用サレルト云フコトハ私能ク分リマセヌ、
モウ一遍其ノ點ヲ御説明願ヒマス、要スル
ニ規格試驗ト云フモノニ合格シタモノヲ内
務省ガ許可シナイト云フコトデハ試驗ト云
フモノハ何デアルカト云フコトニナリマス

○說明員(中澤秀一君) 壓縮「ガス」及液化
「ガス」取締法ガ出來マシタ當時ハ「ガス」容
器ハ専ラ輸入ニ頼ッテ居リマシタノデ、「ガ
ス」ノ製造、貯藏、販賣ヲ取締ッテ居ル法規ナ
デアリマス、ソレニ附隨シマシテ容器ノ取
締モ若干アル譯デアリマス、サウシテ其ノ
當時ハ現在ノヤウニ「ガス」自動車ニ使ハレ
ル容器ノ出テ來ルト云フコトガ豫想サレテ
居リマセヌデシタ爲ニ、其ノ試驗方法ガ壓
潰試驗、延伸試驗、耐壓試驗ノ三ツヲ以テ
完成サレテ居ッテ譯デアリマス、處ガ「ガス」自
動車ニ使ハレルヤウニナリマシテ、衝突其ノ
他ノ場合ノ衝擊ヲ非常ニ重要問題トシナケ
レバナラナクナリマシタノデ、衝擊試驗ヲ
課スルヤウニナッテ譯デアリマス、ソレデ從來
ノ一般ノ「ガス」容器ニ對シマシテアリマス試
驗方法ノ壓潰試驗、延伸試驗、耐壓試驗ハ内
務省ノ施行令ニ依リマシテ、告示トシテ試驗
方法ハ出テ居リマシテ、其ノ告示ノ範圍内ニ
合格シタモノハ合格ト云フコトニナッテ居ルノデ
アリマスガ、新シク發生シマシタ「ガス」自
動車ト「ガス」自動車ノ容器ニ對シマシテハ、
結局據リ所ガアリマセヌノデ、其ノ爲ニ施
行令ノ第三十七條ニ、内務大臣ガ特別ノ許
可乃至ハ制限ヲスルコトヲ得ル規定ガシテ
アルノデアリマシテ、ソレニ依リマシテ衝
擊試驗、熱處理、ソレカラ一般ノ容器ト同
様ニ耐壓試驗、壓潰試驗、延伸試驗、詰り
全般的ニ見マシテ良イカ悪イカト云フ判定
ヲ内務省デ下スヤウニナッテ譯デアリマス

○子爵河瀬眞君 次ニ御伺ヒシタイノデゴ
ザイマスガ、警保局ノ警發甲第百二十四號、
之ニ依リマスト、自動車用ノ高壓容器ハ製
作ノ日ヨリ起算シテ五年ヲ超ユルモノハ之
ヲ使用シテハイケナイト云フ規定ガアリマ
スガ、是ハ今デモ此ノ規定ガアルノデゴザ
イマスガ、ドウデゴザイマスカ
○說明員(中澤秀一君) 先程申シマシタヤ
ウニ、外國ニ於キマシテハ、「ガス」自動車
ノ容器ハ専ラ破裂シマシタ場合ニ破片ニナ
リマセズ、詰り災害ガ大キクナラナイ容器
ナノデアリマシテ、日本ニ於キマシテ炭素

鋼ノ容器ヲ世界ニ初メテ「ガス」自動車ニ使ッ
タ譯デアリマス、從ヒマシテ外國ニ於ケル
炭素鋼ノ容器ヲ自動車ニ使ッタ文獻モ乃至
ハ調査其ノ他ノコトモアリマセズ、内地ニ
於キマシテモ新シク出來マシタ問題デアリ
マス爲ニ、殊ニ交通機關トシテ、工場デ働
イテ居リマシテ、ソレニ依ッテ災害ヲ被ッ
トカ何ト云フモノト問題ガ非常ニ違ヒマ
シテ、交通機關デアルト云フコトヲ非常ニ
重視シマシテ、取敢ズ五年間使ッテ見マシ
テ、其ノ結果ヲ見マシテ、宜シケレバ緩和
シヨウト云フヤウナ氣持ノ下ニ、差當リ第
一回ニ五年ヲ超エタモノハ使用セシメザル
コトト云フコトニ致シタ次第デアリマス

○子爵河瀬眞君 製作ノ日カラ起算シテ五
年ヲ超エタモノハ使ッテハナラヌ、今分ラナ
イカラサウシテ置クノダト云フ御話ノヤウデ
ゴザイマスガ、是ハ使用ヲ始メテカラ五年
ト云フコトデナク、新シク拵ヘテホッテラカ
シテ、五年經ッタイケナイト云フコトニナ
ルノデゴザイマスガ、例ヘバ四年間倉庫ニ
シマッテ置イテ、買ッタ人ハ一年キリ使ヘナ
イ、或ハ海軍ナドニ於テ、陸軍モ勿論サウ
デアリマスガ、出師準備ヲ致シマス、ソレ
ニハ大砲デモ水雷デモ、其ノ外色々ナモノ
ヲ保存シ、非常時ニ持チ出サウト云フノデ、
制式ガ變ラヌ以上ハ何十年デモソレヲ持ッ
テ居ル、拵ヘタ日カラ何モシナイデ、五年
經ッタモノハイケナイト云フヤウナ規定ハ、
私ハ初メテ見ルノデアリマスガ、是ハモウ
少シ其ノ理由ヲ言ッテ戴キタイト思ヒマス、
是デハ海軍デ若シ出師準備デ持ッテ行カウ
トシテモ、五年經ッタラ全部變ヘナケレバナ
リマセヌ

○說明員(中澤秀一君) 製作ノ日ヨリ起算
シテ五年ヲ超エタモノハ使用セシメザルコ
トト云フ規定ハ、只今御質問アリマシタ御
方ト内容ニ於テハ全ク同感ナノデゴザイマ
シテ、只今ノ實際ノ問題ヲ申上ゲマス、
警視廳ニ於キマシテモ或ハ又各府縣トモ容
器ノ所有者其ノ他ヲ總テ知ッテ居リマス關
係上、實際ニ使用ヲ開始シタ日カラ五年間
ト云フコトニ只今取締ッテ居リマス

○子爵河瀬眞君 サウスルト此ノ告示ハ間
違ッテ居ルコトニナリマスネ、使用シタ日カ
ラ起算シテ五年ト云フコトニナルト、是ハ
誰ガ見テモ今仰ッシャルヤウニハ取レマセ
ヌ、私之ヲ見マシテ頗ルヲカシク考ヘマス、
是ハ燃料協會誌デゴザイマスガ、燃料局技
師ノ遠藤一郎ト云フ人ガ斯ウ云フコトヲ
言ッテ居ル、今申上ゲタヤウニ五年經ッ
タラ使ッテハイケナイト云フノダカラ、サウス
ルト五年間デ全部償却シテ、五年經ッ
タラシマフト云フノデ計算ヲ立テルト云フコ
トガ、燃料協會誌ニ計算ガ出テ居ル、五年經
テ使ヒモシナイデ棄テシマフ、サウ云フ
御通達ガ出テ居リマス、警保局カラ御通達
ヲ出サレルノハ、是ハ非常ナ力ノモノダト
私ハ考ヘテ居ル、今御説明ニ依リマス
トマルデ違ッテ居リマス、次ニ伺ヒタイ
ノデスガ、外國デハ容器ニ對シテ「プロパ
ン・ガス」、アノ位ノ程度ノモノニ對シテハ皆
錄接ヲヤッテ居ル、現ニ臺灣デハ錄接ノモノ
ヲ使ッテ居ル、内地ニ於テハ一切此ノ取締ニ
依ッテ使ッテイケナイト云フコトニナッテ居
リマス、大容器ノ場合ニハ錄接デ宜シイ、
併シ中ト小トハ一切一體ノモノヲ造レト云
フコトニナッテ居ル、此ノ錄接ハ、昔ノ錄接
技術ト今日ノ錄接技術ハ非常ナ差ガアリ、
今日ハ進ンデ居リマス、我々ノ知ッテ居ル者

ニ容器ニ對シテ銲接ハドウカト云フト、可能デアルト云フコトヲ言フ人ガ可ナリ多イ、ソレデスウ云フモノハ普及セナケレバナリマセヌノデ、出來ルダケ手輕ニ、安ク輕ク拵ヘルト云フコトガ必要ダ、ソレニハ銲接ナド持ッテ來イデアアル、ソレニ對シテ銲接スベカラズ、一體ノモノヲ使ヘト云フコトニナッテ居リマスガ、ソレハソレトシテ置イテ、銲接ニ付テ何カ御研究ヲ進メテオイデニナリマスガ、ドウデゴザイマスガ、使フコトニ向ッテ……

○説明員(中澤秀一君) 只今銲接ノ御話ガ出マシタガ、銲接ノコトニ關シマシテハ厚生省ノ方ノ汽罐協會ノ内部ニ銲接ノ委員會ガゴザイマシテ、私ノ方ノ主任技師ノ小野寺技師ガ委員ニナッテ居リマス關係上、其ノ方面デ色々資料ヲ集メ、又討論モ致シマシテ目下研究シテ居ル最中デアリマス

○子爵河瀬眞君 是ハソソナ手温イ問題デヤナイト私ハ思ヒマス、直接内務省カラ商工省ニ委託スルトカ、商工省ニハ燃料研究所モアリマスシ、工業試験所モアリマス、兎ニ角今日ハ出來ルダケ早ク必要ノモノヲ得ルト云フコトガ大切ナコトデ、ソレニハ研究ヲ片端カラ進メ、サウシテ利用範圍ヲ増スト云フコトガ大切デアルト私等ハ考ヘテ居ル、今伺ヒマス云フト主任ノ技師ガ何處カノ委員會ニ入ッテ居ッテ、其ノ委員會デ研究シテ居ルト云フ御話デゴザイマスケレドモ、私ハ是ハモウ少シ本氣ニ御研究ニナルヤウニ御願ヒ致シタイト思ヒマス、次ニ此ノ「ガス」體燃料ヲ使フ場合ニ、可燃性「ガス」中ニ酸素含量「パーセント」以上含ンダモノハ壓縮セザルコト云フ規定ガゴザイマスガ、此ノ「パーセント」以上含ンダ

モノト云フノハ壓縮シナイ、使ハナイト云フコトハ是ハ恐ラク爆發トカ云フ方面カラノ規定ダラウト考ヘマス、此ノ爆發圈ハ「ガス」ニ依ッテ違ッテ居リマス、ソレデ茲ニ書イテアリマス「パーセント」ハ何モ彼モ十把一カラゲノ「パーセント」デアアル、今日ノ非常時ニ於キマシテハ使ヘルモノハ何デモ使フト云フノガ建前デナケレバナラス、モノニ依レバ安全率ハ下ゲテ、勿論安全ヲ害シテハイケマセヌケレドモ、「セイフチ」フアクター「ハ」少クシテ行クト云フコトガ利用範圍ヲ擴ゲルコトデアラウト考ヘマス、處ガ之ニハ酸素含量「パーセント」トナッテ居ルガ、ハ相當ノ「セイフチ」ガモノニ依ルト入ッテ居ルト思ヒマス、之ニ付テ何カ御研究ニナッテオイデニナリマスガ、ソレト酸素ガ入りマシタ時ニ「イソ・アミール・プロマイド」ト云フヤウナモノヲ入レルト云フト爆發圈ガ消滅スルト云フコトヲ書イタモノガアルヤウデアリマスガ、其ノ止爆發劑ニ對シテ御研究ニナッテ居リマスガ、其ノ現狀ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○説明員(中澤秀一君) 只今「酸素」ノ「パーセント」ノ問題ニ關シマシテハ先達テ來企畫院ニ於キマシテ警視廳、商工省、内務省各關係官ガ集リマシテ、「ガス」自動車ノ會議ヲ三四回開イタノデアリマスガ、其ノ際此ノ問題ガ出マシテ燃料研究所ニ研究ヲ依頼シテ居ル筈デアリマス

○子爵河瀬眞君 止爆發劑ニ付テ伺ヒタイ○説明員(中澤秀一君) ソレハ酸素ノ含有量ヲ「パーセント」デ抑ヘルベキモノカ、或ハモット緩和出來ルモノカト云フコトニ付テデアリマス

○子爵河瀬眞君 只今「酸素」ガ二

「パーセント」以上入ッテ居ッたら、其ノ酸素ノ爆發ヲ防グ爲メ、爆發ヲ止メル爲メ止爆發劑ヲ使フ、是ハ「アメリカ」デ研究シテ居ルヤウデゴザイマスガ、内務省ニ於テハ其ノ爆發防止劑ニ對シテドウ云フ御研究ガゴザイマスガ○説明員(中澤秀一君) 只今御質問ノ事柄ニ關シマシテハ矢張り燃料研究所ニ依頼シテ居リマス、詰リ酸素ノ含有量ヲ「パーセント」位デ抑ヘタラ宜イカト云フコトト、同時ニサウ云ツタ方面ノコトモ依頼シテ居ル次第デアリマス

○子爵河瀬眞君 酸素ノ含量「パーセント」ト云フコトニ對シテハ御研究中デアアル、ソレカラ止爆發劑ニ付テモ燃料研究所ニ言ハレテ御研究中伺ヒマシテ、非常ニ結構ナコトト思ヒマス、各種「石炭」「ガス」ヲ使フ場合或ハ天然「ガス」ヲ使フ場合ニ酸素ガ入ッテ參リマス、ソレガ「パーセント」ト云フヘ

バ如何ニモ小サイモノデアリマスガ、代用燃料ヲ普及サセル意味ニ於テ非常ニ大キナコトデゴザイマス、諄イヤウデゴザイマスガ伺ツタ次第デゴザイマス、今大體伺ツタ所ヲ綜合シテ見マス、私ノ感じカラ申シマス、此ノ高壓容器ト云フヤウナモノハ昔ハ爆發物、危險物ト云フ風ニ見テ保安ノ方面カラ、取締方面カラ之ヲヤラレタノガ至當デアツタカモ知ラセヌ、併シ現在ハ其ノ域ヲ脱シテ居ルト考ヘマス、從ッテ是ハ内務省ノ管轄ヨリハ商工省ノ管轄ト考ヘマス、サウスルト今ノ研究ニシロ何ニシロ商工省ニ於テハ立派ナ研究所ヲ御持チニナッテ居ル、工業試験所モ整備サレタモノヲ持ッテ居ラレル、手足ヲスツカリ揃ヘテヤッテ居ラレルノデアリマスガ、是ハ自分ノ心持カラ申シマス、商工省ノ管轄トシテ行カレルノガ

一番宜イト考ヘルノデアリマスガ、是ハ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、最後ニモウ一ツ「石炭」ノ増産問題デゴザイマス、何ト申シマシテモ有ラユル動力ノ根源トナルモノハ「石炭」デアリマシテ、石炭ガナケレバ殆ド何モ動キマセヌ、液化ニシタ處デ、或ハソレ以外ノ工業ニシタ處デ、石炭ハ有ラユルモノニ對シテ何ヨリ先ノモノト考ヘマス、是ハ私ガ申ス迄モゴザイマセヌ、處ガ聞ク處ニ依ルト豫定計畫通り行ッテ居ラヌト云ッテ居ル人モアル、的確ナコトハ分リマセヌガ、總テノ基本デアアル「石炭」ガ動力カナイヤウナコトデアツテハ他ノモノハ皆動力ナクナル、是ハ何ヲ措イテモ、ドンナ苦シイコトガアツテモヤラナケレバナラスト思ヒマス、ソレニ對シテ商工省ノ燃料當局ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマスガ

○政府委員(東榮二君) 「石炭」ノ増産ノ問題ニ付キマシテハ、前ノ議會ニ於キマシテ配給統制ニ關スル法律案ヲ通過致シマシテ、ソレニ伴ヒマシテ増産ニ對スル各種ノ豫算モ通過致シマシテ、所謂一口ニ六百萬「トン」ノ増産ト、斯ウ申シテ居リマシタノデスガ、是ハ正確ニ申シマスレバ十五年度ニ於キマシテ、内地ニ於テ五百八十萬「トン」ノ増産ヲスルト斯ウ云フ計畫デアツタノデゴザイマス、ソレニ付キマシテハソレダケノ増産ヲ致シマスニ付キマシテハ資材、勞務者等各、此ノ程度ヲ確保スルコトガ必要デアルト云フコトガ勿論デアリマシテ、ソレ等ノ確保ニ付キマシテモ、ソレノ計畫ヲ立デマシテ、其ノ計畫ヲ實施致シテ參ツタノデゴザイマス、サウシテ昨年ノ十五年度ノ年度ノ初メ、即チ昨年ノ四月、五月ノ頃ハ其ノ計畫ガ非常ニ順調ニ實施サレマシテ、四、

五ノ兩月ノ如キハ豫定計畫以上ニ増産が出
來タノデゴザイマス、然ルニ七月頃カラ段
段其ノ増産ノ勢ヒガ鈍テ参リマシテ、八
月、九月、十月ト云フ頃ハ最モ増産ノ豫定
計畫ト其ノ實績トガ離レテ参リマシテ、勿
論實數ニ於キマシテハ前年ノ同月ヨリハ各
月トモ増産ニハナツテ居リマスガ、豫定計畫
ヨリハ相當距離ガアツタノデアリマス、ソレ
ハドウ云フ原因ニ依ツタカト云フコトヲ考ヘ、
テ見マス、最モ大キク影響致シマシタノハ
勞務者ノ充足ガ豫定通り行カナカッタト云フ
事情デアツタノデアリマス、四、五、六月アタ
リ迄増産ガ出來タト云フコトハ、昨年ノ二、
三月頃相當朝鮮勞務者ノ移入及ビ内地勞務
者ノ充足ト云フコトニ重點ヲ置キマシテ、其
ノ確保ガ出來マシタ結果トシテ、是等ノ月ハ
相當増産ノ實ヲ擧ゲタノデアリマスガ、七月
頃カラ特ニ此ノ九、十月頃ニナリマシテ或
ル方面ニ特ニ勞務者ヲ充足スル必要ガアリ
マシタ爲ニ、炭鑛勞務者ノ充足ニ相當影響ヲ
及シマシテ、其ノ充足ガ計畫通り行カナカッ
タト、斯ウ云フコトガ相當影響ヲ致シタノ
デアリマス、其ノ結果ト致シマシテ昨年ノ
十一月カラ十二月ニカケテ再ビ石炭ガ相當
不足シハシナイカ、特ニ原料炭ニ付テ不足
ノコトガ心配セラレマシテ、又是ガ對策
ニ付テ關係各省ト色々協議ヲ致シマシテ、
御承知ノ通り本年一月カラ三月迄ヲ特ニ石
炭ノ増産強調期間ト云フモノヲ設ケマシテ、
其ノ増産ニ力ヲ注グト同時ニ、特ニ勞務者
ノ充足及ビ之ニ伴フ資材ノ確保ト云フコト
ニ重點ヲ置イテ協力ヲ致シテ居ルノデアリ
マス、其ノ結果ト致シマシテ最近ハ再ビ増
産ノ實ガ擧テ参リマシテ、一月ノ如キハ
再ビ豫定計畫以上ノ實績ヲ示スニ至ツテ居

リマス、此ノ調子デ参リマスレバ二、三ノ
兩月モ恐ラクハ豫定計畫以上ニ達スルノデ
ハナイカト、斯ウ云フ見込ヲ付ケテ居ルノ
デゴザイマス、全體ヲ通算致シマシテ特
ニ昨年ノ夏カラ秋ニ掛ケテノ増産ノ勢ヒノ
鈍ツタノヲ勘定ニ入レマシテ、全體トシテハ
大體豫定計畫ヨリモ約百五十萬「トン」位ノ
豫定計畫ニ較ベテ減産ニナルノデハナイカト、
斯ウ云フ見込ヲ付ケテ居リマス、併シナガ
ラ全體ト致シマシテハ相當増産ノ實ヲ擧ゲ
テ居ルノデアリマシテ、最近御承知ノ通り
石炭ハ年々相當ノ増産ヲ示シテ來テ居ルノ
デアリマシテ、我が國ノ重要物資ノ中石炭
程年々増産ノ實ヲ擧ゲテ來テ居ルモノハ外
ニ實ハナイノデアリマス、其ノ中デモ昭和
十五年度ハ最モ多クノ増産ノ實ヲ擧ゲテ居
ルノデゴザイマス、從ツテ其ノ配給ノ實情ニ
付テ見マシテモ一年前ニ較ベマス、今年
ハ相當緩和セラレマシテ、原料炭ニ付キマシ
テハ相當窮迫ヲシタ事情ガゴザイマシテ、
一時我々モ其ノ確保ニ非常ニ心配致シマシ
タガ、是モ既ニ危期ヲ脱シテ居リマス、一
般ノ「ボーラー」炭等ニ付キマシテハ殆ド一
年前ニ較ベマス、配給ガ圓滑ニナリマシテ、
非常ナ苦情ヲ聞カナイヤウナ状態ニナツテ
居ルヤウナ實情デゴザイマス

○子爵河瀬眞君 私人質問ハ終リマス

○子爵綾小路護君 河瀬子爵ノ只今ノ石炭
ノ増産ニ付テノ質問ニ關聯致シマシテ、勞
務者關係ニ付テ伺ヒタイノデゴザイマス、
是ハ厚生省ノ政府委員カラ御説明ヲ戴キタ
イノデアリマス

○委員長(男爵渡邊汀君) 職業局長ガオイ
デニナツテ居リマス

○子爵綾小路護君 現在我が國ノ鑛山ノ、

是ハ石炭バカリデナイ、一般デモ宜シイ、
ソレ等ノ鑛山ノ中ニ何等カノ事情ニ因ツテ
一時稼行ヲ中止致シテ居ルモノガ相當アル
ガラウト思ヒマス、而シテソコニ無爲殘留ス
ル勞務者ノ員數モ全國デハ相當數ニ上ツテ
來ルト考ヘルノデアリマス、是等ニ對スル
御調ハ勿論ハ變動致スコトデアリマスガ
ラシテ、此ノ調査ハムヅカシイトハ存ジマ
スガ、大體其ノ數ハ御分リニナツテ居ラウ
ト思ヒマス、ソコデソレ等ノ過剩勞力ヲ集
メマシテ、サウシテ現在稼行シテ居ル所ノ
方面ニ向ケル、之ハ命令ヲ以テスルコトニ
ナリマスガ、即チ一種ノ強制移動ト云フコ
トニナラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ必要ガ
アラウト考ヘマスガ、是ハソレニ伴フ弊害
モ無論アルトハ考ヘマスガ、石炭ナリ其ノ
他地下資源ノ開發獲得ヲ必須トスル現在ノ
時局下ニ於キマシテハ、サウ云フヤウナコ
トモ厚生省トシテハ御考ニナル必要ガアル
ノデハアルマイカ、斯様ニ存ズルノデアリ
マス、御所見如何デアリマスカ

○政府委員(内藤寛一君) 御説明尤モデア
リマスガ、實際ノ實情ニ於キマシテハ獨リ
鑛山ダケデナク、工場方面ニ於キマシテモ
或ハ半分ノ休業狀態或ハ三分ノ一ノ休業狀
態、完全ニ動イテ居ルモノニ較ベマス、サ
ウ云フ風ナ見方ガ出來ルモノモアリ得ルト
思フノデアリマス、併シナガラ是等ノ業主
ニ於キマシテハ將來ニ備ヘル意味ニ於テ、
又一度人ヲ離シマス、今日ノヤウナ非常ニ
勞務逼迫ノ折柄、再ビ必要ナ時ニ即時人員
ヲ揃ヘルト云フコトノ不可能ナ爲ニ御説ノ
ヤウナ場面ガ多少アルト思ヒマス、併シナ
ガラ全然休ミ切リト云フヤウナ場面ニ於キ
マシテハ、ソコニ勞務者ノ一方需要ガ非常

ニ多イ關係上、自然ノ流れニ依リマシテソ
レ程大キナ數ガ、今仰シヤルヤウナ意味合
デ止ツテ居ルトハ考ヘラレナイノデアリマ
ス、其ノ數ニ付キマシテハ御説ノヤウニ甚
ダ移動ノ頻繁ナモノデアリマシテ、ドノ位
ノモノガ先ツ半分シカ働イテ居ナイト云ッ
タヤウナ數ハ持合セガゴザイマセヌガ、
是等ノモノヲ早く決意ヲ促シテ、強制的ニ
必要ナ場面ニ向ケルト云フ意味合ニハ今日
ノ制度ト致シマシテ、所謂徵用ト云フ制度
ガゴザイマス、唯今日政府デ執ツテ居リマス
勞務ニ對スル行キ方ハ端的ニ申上ゲマス
ト、在來ノヤウナ自由ニ結バレタ雇傭契約
ニ依ルモノト、其ノ次ニハ國ノ權力ニ依リ
マス徵用、窮極致シマス、此ノ二ツシカナ
イノデアリマス、或ハ其ノ中間ニ位スルガ
如キ半強制ト申シマスガ、ト云ツタヤウナ
意味合ノ制度ガ存在致シマス、甚ダモノ
ニ依ツテハ發動ガ容易イノデアリマス、ド
ウ斯ウ致シマシテモ結局物ノ問題デハナイ
ノデアリマシテ、人ノ自由ヲ拘束スル問題
デアリマス、權力ニ依ル自由ノ拘束力、
然ラザレバ契約ニ依ル雇傭力、其ノ形態ト
致シマシテハ、此ノ二途以外ニチヨット考ヘ
ラレナイノデアリマシテ、從ツテ此ノ間人
ノ足ラナイ鑛山方面ニ人ヲ寄セル意味合ニ
於キマシテ、在來ノ職業紹介所、現在ハ職
業指導所ト申シマスガ、是等ガ法理ノ上ニ
於キマシテハ結局自由契約ヲ結バスコトヲ
斡旋スルニ止ルノデアリマスガ、併シナガ
ラ非常ナ強イ力ヲ以チマシテ干涉致スノデ
アリマスカラ、其ノ際ニ一方デハ人ガ足ラ
スト云フノ御叱リヲ受ケル程ノ努力ヲ致
シマシテモ、結局歸スル所ハ契約ニ依ルカ、
最後ノ強制力、從ツテ最後ノ強制ヲ執リマス

徵用ニハ、現在ノ制度デハ國ノ事業及國ノ管理政シマス事業ニミ限定サレテ居リマス、ソレハ御話ノ中ニモ多少出テ居リマシタヤウニ自由ノ拘束デアリマスノデ、無制限ニ之ヲ擴メテ行クト云フコトハ色々ナ弊害ヲ來シマスノデ、今日ノ所其ノ限度ニ止メ、且既ニ實行致シテ居リマスノハ、政府ノ事業ノミニヤラレテ居リマス、將來ハ法制ノ上デハ國ノ管理工場ニハ徵用スルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ナ現在ノ所仕組ニナツテ居リマス、併シ御説ノヤウナ點ハ我モ同感デアリマスノデ、之ヲ勸メル方法、斡旋スル方法ト云フモノヲ採リマシテ、早目ニ見切りヲ附ケサシテ、必要ノ部門ヘ替ラシテ行クト云フコトニハ極力努メテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○子爵綾小路護君 色々御説明戴キ了承致シタノデアリマスガ、勞働力ノ不足ハ先刻モ燃料局長官ヨリノ御説明ノ中ニモアリマシタガ、生産擴充ニ重大ナル支障條件デアルト云フコトデアリマスノデ、此ノ點ハ特ニ御留意ヲ願ヒタイノデアリマシテ、從來勞働ト申セバ資本ト對立的ナ觀念ニシカ考ヘラレナカッタノデアリマスガ、只今ニ於キマシテハ勞働其ノモノノ統制ト云フヤウナ、サウ云フコトニ付キマシテモ特ニ將來ハ御注意ヲ戴キタイ、尙此ノ際帝國石油株式會社法案ニ付厚生省ヨリ念ノ爲御答ヲ得タイノデアリマス、ソレハ過日來本案ニ付キマシテハ、商工當局ヨリ詳細ナル御説明ヲ煩ハシタノデアリマスガ、此ノ際厚生當局ヨリモ御所管ニ係ル技術並ニ勞力等ノ諸點ニ關シ主管タル商工省ニ對シ如何ナル程度ノ御協力ヲナサレノデアリマセウカ、此ノ際御言明ヲ得テ置キタイノデアリマス

○政府委員(内藤寬一君) 勞務ノ問題ニ付キマシテハ今尙人造石油關係ニ於キマシテハ、總數ニ於キマシテハ大シタ數ニ上リマセヌ、從ツテ需要數大ケハ最モ有利ナル優先的ナ地位ヲ與ヘマシテ、其ノ確保ニ努メタイト考ヘテ居リマス、技術者關係ニ於キマシテモ、人造石油ハ尙研究方面ニ多大ノ力ヲ要シテ居リマスノデ、從ツテ其ノ技術ノ保有率、我々ハ標準保有率ト申シマスガ、是ハ勞務者ノ或一定數ニ對シマシテ技術何「パーセント」置クト云ツタ度合ニ於キマシテモ、又事業ノ重要度ト云フ點ニ於キマシテモ、大體最高ノ點ヲ人造石油ニ對シマシテハ與ヘテ、本年度ノ卒業生ニ付テハ相當ノ配當ヲヤッタノデアリマス、併シナガラ現狀ハ皆御承知ノヤウニ、卒業生一人ニ對シマシテ約八九倍ノ申請數ト云フモノガアリマスシ、更ニ其ノ内デモ應用化學トカ、機械トカ云フガ如キモノハモット高率ノ割合ニナツテ居リマスノデ、現狀ト致シマシテハ出來ル限りノ配當ヲ致シタノデアリマスガ、併シナガラ之ヲ業者ノ方面カラ見マス

ト、或ハ恐ラク不足ヲ懸ヘルダラウト考ヘルノデアリマス、併シ來年ハ幸ヒ專門學校、實業學校、學部ヲ合セマシテ二三千ノ卒業生ノ増加ト云フモノモ期待シ得ルコト存ジマス、此ノ點ハ多少ノ緩和ヲ來スダラウト思ヒマス、何レニ致シマシテモ先程申上ゲマシタヤウニ勞務者並ニ技術者ノ御世話ニ付キマシテハ、此ノ人造石油關係ニ對シマシテハ最モ高位ノ點數ヲ付ケ、優先的ニ御世話ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘマス

○飯塚知信君 先般來政府當局ノ御説明ヤ、或ハ又委員各位ノ御質問ニ依リマシテ大體分リマシタガ、私ハ此ノ日本ノ石油ハ

大體人造石油ト、天然石油會社ノ二ツニ分レル譯デアリマシテ、今回更ニ政府ハ此ノ帝國石油株式會社法案ヲ御提出ニナリマシテ、其ノ需要ニ對シテ不足ヲ補フト云フコトハ誠ニ現下ノ急務デアルト思フノデアリマス、併シナガラ私ハ此ノ石油事業ノ重大性ニ鑑ミマシテ、更ニ此ノ事業ノ一段ト擴大強化ヲ圖ル爲ニ、昨日實ハ豫算總會ニ於キマシテ岩倉男爵ノ御質問ニ對シテ、小島次官ハ早急ニ此ノ資本ヲ増加スル積リハナイト云フヤウナコトヲ言ハレタヤウニ今朝ノ新聞デ拜見シタノデアリマスガ、私ハ將來此ノ天然石油會社、或ハ人造石油會社、或ハ今出來ムトスル此ノ帝國石油株式會社ト云フヤウナモノヲ總テ統合合併致シマシテ、茲ニ半官半民ノ國策會社ヲ造テ、此ノ強大ナル大資本ヲ以テ大イニ内外各方面ニ飛躍發展シマシタラバ、現下ノ此ノ國際情勢ニ於ケル最モ適切ナル方法デハナイカト思フノデアリマスガ、之ニ付キマシテ當局ノ御考ハ如何デアリマセウカ、チヨット伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(東榮二君) 只今ノ御意見ハ其ノ御趣旨ニ於テ私共全然同感デゴザイマス、今後人造石油ト言ハズ、天然石油ト言ハズ、石油關係ノ事業ハ極力其ノ振興ヲ圖ラナケレバナラヌノデアリマシテ、其ノ事業ノ振興ニ伴ヒマシテ、更ニ資金モ増シ、其ノ他資材、勞務者等ノ増加ヲ必要トスルコトハ當然デゴザイマス、其ノ必要ニ應ジマシテ今後は等關係ノ各種ノ國策會社ノ資本ノ増加ヲ圖ツテ行クト云フコトモ必要デアラウト存ジマス、唯現狀ニ於キマシテハ差當ツテ是ダケノモノデ十分ニ其ノ目的ヲ達シ得ルモノト考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマ

ス、左様御承知ヲ願ヒマス

○飯塚知信君 私ハ現在デハアリマセヌ、將來ニ付テノ御意見ヲ伺フ積リデアリマスガ、其ノ點ヲモウ一應伺ヒマス

○政府委員(東榮二君) 將來ニ於キマシテハ、先程申上ゲマシタ通り、是等ノ事業ノ振興ニ伴ヒマシテ、更ニ一層多額ノ資金ヲ要スルコトハ、是ハ當然豫想サレルコトデアリマスルカラ、其ノ必要ニ應ジマシテ今後資金ノ増加ヲ圖ツテ行クトハ、勿論我々モ常ニ考ヘテ居ル所デゴザイマス

○男爵宮原旭君 人造石油ノ製造事業法案ニ付テチヨット御聽キシタイコトガアリマス、ソレハ價格ノ問題デゴザイマスケレドモ、從來ノ獎勵金交付ノ制度ヲ御廢止ニナリマシテ、今度ハ原則トシテ生産費ト、ソレカラ相當ノ利益ヲ御考ニナリマシテ、價格ヲ公定サレルヤウデゴザイマスガ、其ノ人造石油ノ生産費ト云フモノハ、結局其ノ設備ニ相當大キナ、莫大ナ費用ヲ掛ケル必要上、其ノ種類ニ依リマシテ色々違フダラウト思フノデゴザイマスガ、其ノ價格ノ公定ハ種類ニ依ツテ違フノデゴザイマスカ、ソレトモ又人造石油全部ニ對シテ同ジ價格ニナサイマスカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○政府委員(東榮二君) 現在交付シテ居リマスル助成金モ人造石油ノ種類ニ依リマシテ、又其ノ製造方法ニ依リマシテ數種ニ分ケテ高低ヲ付ケテ出シテ居リマス、今後人造石油ノ種類ガ更ニ多種類ニナリマシテ、其ノ生産費等モ相當差違ガアルヤウニナリマスコトガ豫想セラレマスノデ、是等ニ付キマシテハ總テ其ノ種類ニ依リマシテ、其ノ生産費及ビ適當ノ利潤ヲ考慮シテ、違ツタ公定價格ヲ付ケテ之ヲ買上ゲタイト考ヘテ

居リマス

○男爵宮原旭君 現在デハマダ人造石油ノ使用方面ガ民間ノ方ニ行渡テ居リマセヌケレドモ、將來ハ必ズ是ハ民間デモ使用スルヤウニナルグラウト思フノデゴザイマスガ、其ノ場合今ノヤウニ種類ニ依ッテ値段ノ相違ガアリマス、マア常識デ考ヘラレマスノハ、民間デハ一番値段ガ安クテ最モ良イモノヲ最モ餘計使フト云フコトニナッテ、今迄色々設備ヲナサツタ中デ、或一種類シカ後ニ残ラナイト云フヤウナコトガアリハシナイカト思フノガ一ツノ點、ソレカラ今度ハ天然石油トカ、輸入石油ニ對シテノ値段ノ相違ガ必ズ出テ來ルト思ヒマスガ、其ノ點ハドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ

○政府委員(東榮二君) 只今ノ御話ノ點ヲ考慮致シマシテ、總テ石油ハ共販會社ニ對シテ公定價格デ之ヲ一手ニ買集メサセマシテ、總テ石油ハ共販會社ニ對シテ公定價格デ之ヲ一手ニ買集メサセマシテ、サウシテソレヲ所謂「プール」標準價格デ、天然石油デアラウト、人造石油デアラウト、同ジ品質ノモノハ同ジ値段デ之ヲ市場ニ出サセルト云フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス

○委員長(男爵渡邊汀君) 官原男爵ニチヨット御話ヲ致シマスガ、今本會議デ國防保安法案ノ修正ノ動議ガアリ、其ノ修正ノ理由ヲ説明中ダサウデス、非常ニ重大ナ法案ト思ヒマスカラ、若シ御差支ガナケレバ打切ッテ戴キタイト思ヒマス

○男爵宮原旭君 モウ私ハ是デ打切リタイト思ヒマス

○子爵安藤信昭君 私ハアルンデスケレドモ、ソレデヤ午後……

○委員長(男爵渡邊汀君) ソレデハ一應休憩シマシテ本會議ノ方ニ參リタイト思ヒマス、皆サンニチヨット申上ゲマスガ、今御聽キノ通り國防保安法案ノ修正動議ガ出マシテ、修正ノ理由ヲ説明中ダサウデアリマス、一時休憩致シマシテ、畫カラ午後一時半カラ又開會スルコトニ致シマス、一時休憩致シマス

午前十一時四十一分休憩

午後四時四十五分開會

○委員長(男爵渡邊汀君) ソレデハ開會致シマス、御質疑ハアリマセヌカ

○子爵安藤信昭君 私先程御質問申上ゲルト申シマシタガ、都合ニ依リマシテ私ノ質問ヲ止メルコトニ致シマス

○委員長(男爵渡邊汀君) ソレデハモウ御質疑ハ終ッタモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵渡邊汀君) 是カラ懇談會ニ移リマシテ希望決議ヲ付ケタイト云フ御希望ノ委員ガアラレマスノデ、其ノ事ニ付テ懇談會ヲ開キタイト思ヒマス

午後四時四十七分懇談會ニ移ル

午後五時十二分懇談會ヲ終ル

○委員長(男爵渡邊汀君) 懇談會ヲ終リマス、別ニ御質疑モナイト思ヒマスカラ、討論ニ入リタイト思ヒマスガ……速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○委員長(男爵渡邊汀君) 速記ヲ始メテ、ソレデハ衆議院送付ニ係ル人造石油製造事業法中改正法律案、帝國燃料興業株式會社

法中改正法律案、帝國石油株式會社法案、此ノ三案ヲ一括シテ議題ニ供シマス

○子爵河瀬眞君 私ハ議題トナッテ居リマス三案ニ對シテ賛成ノ意ヲ表スル者デゴザイマス、此ノ三案ガ出テ參リマシテ、段々液體燃料ノ自給ノ外貌ガ備ッテ來タ、併シ是等ハマダ形ノモノデゴザイマシテ、之ニ魂ヲ入レ、カラ附ケルト云フコトハ是カラノコトデ、非常ナ努力ヲ要スルト思ヒマス、又是非是等ノモノヲシテ活躍サセ、サウシテ日本ノ液體燃料ノ不足ヲ是等ニ依ッテ補ハナナケレバナラスト思フノデゴザイマス、ソレデ是等ヲ出來ルダケ活躍サセルニハ、先ヅ第一ニ考ヘルノハ、各種資材、或ハ資金ノ準備トカ、色々保護シテヤルトカ、又技術ハ技術ノ統合、活用、尙工作力ヲ整備シマシテ、會社ノ發展ニ備ヘナケレバナラスト思フ者デゴザイマス、在來ノ政府ノヤリ方ヲ拜見シテ居リマスノニ、非常ニ御盡力デ、非常ニ熱誠ニオヤリデゴザイマスケレドモ、マダ燃料自給ト云フコトニ向ッテハ、物足ラスモノト私ハ考ヘテ居リマス、之ヲ併シ段々形モ揃ッテ參リマシタノデ、之ヲ育テ上ゲ、非常ナ苦心モアルコトグラウト思ヒマスガ、十分育テ上ゲラレテ、必ズ液體燃料自給ニ對シテ、非常ナ力ヲ増スト云フコトヲ期待致シマシテ、私ハ本案ニ賛成致シマス

○委員長(男爵渡邊汀君) 別ニ御發言ハゴザイマセヌカ

○橋本三郎君 私モ全然賛成デアリマスガ、唯一ツ希望ト謂ヒマスカ將來ニ關スルコトデアリマスガ、衆議院ノ修正致シマシタ新シイ條項ガ入ッタヤウデアリマスガ、私ハアレニハ非常ニ不賛成ナノデアリマシ

テ、今日議員ノ人ガ明日辭メテ直グ役人ニナル、サウスルト民間ノ方ノ事情ガ非常ニ能ク分ッテ宜イノデアリマス、又今日役人デアッタ人ガ辭メテ直グ會社ノ重役ニナル、是モ非常ニ宜イコトデ、外國ナンジハ御承知ノヤウニ今日大臣ガ辭メレバ直グ辯護士ニナルト云フヤウナ例ハ幾ラモアル、ソレヲ、大變ヲカシナ話デスケレドモ、林頼三郎司法大臣ガ辭メテ直グ辯護士ニナラレタト云フ時ニ、私ハ手紙ヲヤツテ、實ニ良イコトヲ貴方ハシテクレタ、サウ云フヤウナ按配ニシテ、下ヲ上ヘデヤナイガ、今度ハ民間ノ事情ヲ官吏ノ方ヘ能ク知ラセ、官吏ノ人ハ又民間ニ入ッテ話ヲスルト云フヤウナ按配ニスルトハ非常ニ良イコトト思フノデアリマス、ガカラ役人ノ人ガ、適當ノ人ガアッタラ會社ノ重役ニナルト云フコトハ私ハ非常ニ良イコトト思フノデアリマス、ソレヲ今迄ノ立法例ガアッタサウデ、今度モアア云フモノヲ衆議院ガ出シテ政府モ御同意ニナツタト云フコトデスカラ、今度ソレヲ又否決シテ協議會ヲ開クコトモヤカシイコトデアリマスカラ私ハ申シマセヌガ、今後アア云フ問題ガ起ツタ時ニハ、政府ハ一ツ大イニ反對シテアナン條項ハ入レスヤウニシテ戴キタイ、私ハ前々カラ思ッテ居リマシタガ、丁度好イ機會デアリマスカラ其ノコトヲ一言申上ゲテ置キマス、ソレカラモウ一ツ申上ゲテ置キタイノハ是ハ速記ニ書イテモ構ハスグラウト思フノデアリマスガ、丁度人造石油ノ株ノ募集ノ時ニ、政府ノ御豫定トソレカラ民間ノ方ノ希望トガ「コーインサイド」シナイデ非常ニ多過ギタト云フ例ガアリマス、今度ノ會社モドウカ國民ガ、苟モ油ノ匂ヒノアル人間

ガ、皆株主ニナツテ一ツ奮發スルコトガ宜カラウト思フ、ソレデチヨット此ノ間、機械ヲ拵ヘテ居ル人ガアルノデスガ、其ノ人ハ、今迄私ハチヨット頭ニ考ヘテ居ラナカッタノデスケレドモ、斯ウ云フ國家的ノ仕事デアルナラバ、私共モ一ツ株主ニナリタイト云フヤウナコトヲ言ッテ來タ人ナドモアリマズ、サウ云フ篤志家ナドガアルモノデアリマスカラ、此ノ株ヲ募集セラルル時分ニハ、政府ノ御方針トシテ、餘リ烏合ノ衆ガ大勢アルコトモ亦イケマセスケレドモ、今私ノ申上ゲタヤウニ、油ニ關係ノアルヤウナ人ハ網羅スル方ガ宜クハナイカト思ヒマスカラ、政府ガサウ云フ方針一ツ決メテ置イテ戴キタイ、ソレカラモウ一ツハ、私ガ之ヲモット早ク知ッテ居ッタラ申上ゲタノデスケレドモ、知ラナカッタカラシテ今申上ゲルノデスガ、今度ノ政府ノ御方針デハ、今度新シク出來ル所ノ會社デハ、此ノ内地ノ油田ヲ開發スルノデアリマズガ、其ノ開發スルニ付テハ、今迄ノヤウニ獎勵費ト云フモノガナイ、所ガ其ノ隣ニ日本石油ガ掘ッテ居ル、其ノ隣ニ日鑛ガ掘ッテ居ルト云フモノハ獎勵金ト云フモノヲ貰フ、試掘獎勵金ヲ貰フ、何間掘レバ幾ラト云フ獎勵金ガアルノデ、年末ナドニナルト大イニ働イテタント掘レト云フヤウナ按配デ、非常ニ獎勵金ガ獎勵ニナル、所ガ今度ノデハ、其ノ獎勵金ガ豫算ニ載テナイ、ソレダカラアノ會社ニ從事シテ居ル職工ヤ職員ハ、此ノ獎勵金ヲ貰ヘスト云フコトニナルト、私ハ之ヲ勵マス上ニ非常ニマツイト思フ、政府ノ方カラ仰シヤルト云フト同ジコトナンデ、ソコデ獎勵金ヲヤレバ、今度ハ補助金ノ配當ノ時ニ、是ダケ考ヘサヘスレバ宜イノダカラ、別ニ其ノ金ガ殖エルトカ何トカ云フヤウナコトモ何ニモナイ、其ノ例ヲチヨット申シマスト、先年ズット臺灣ニ獎勵金ガアッタノヲ、或總督ノ時分ニ獎勵金ヲ廢メル云フコトガアッタ、サウスルト私ノ方ノ會社ガ、今迄獎勵金ヲ下サツテ居ルノガ今度獎勵金ヲ下サラスト云フコトニナルナラバ、モウ政府ハコンナモノハ詰ラスト思ッテ居ルニ違ヒナイ、ソレダカラ我々實ニ不平ダカラ内地ヘ歸ッテシマフト言ヒ出シタ、私ハ總督府ヘ行ッテ總督ニ會ッテ、ソレハ豫算ノ關係デ今迄ノヤウニチヤント出スコトハ出來ヌカモ知レヌガ、矢張り總督府ニハ試掘獎勵費ト云フモノヲ殘シテ置イテ貰ヒタイ、サウスルト我々ガ社員、職工ヲ勵マス上ニ於テ非常ニ都合ガ好イカラト云フコトヲ御願ヒシテ、其ノ時ニハ獎勵費ヲ削ラウト云フコトヲ止メテ、獎勵費ヲ其ノ豫算ニ、臺灣デ載セラレタコトモアル、サウ云フコトヲ私知ッテ居リマスカラ、今度ノモ、皆ガ貰ハスト云フナラバ何ダケレドモ、隣ノ油ヲ掘ッテ居ル人ハ貰ヘルシ、其處ノ所ハ貰ヘスト云フコトニナルト、妙ナモノデ、職工ヤ社員ハ非常ナ妙ナ感ジヲ起ス、ソレダカラ今豫算ヲ更正シタリナンカト云フコトハ無論面倒デスシ、ソナナコトヲシナクテモ宜イデセウガ、來年度十七年度ノ豫算ヲ御拵ヘノ時分ニハ、ソレハ一ツ頭ニ置イテ御直シニナッタラドウデセウト云フコトヲ、失敬デスケレドモ、深切ノ心ヲ以テ申上ゲテ置キタイ、斯ウ思フノデアリマス

○委員長(男爵渡邊汀君) 速記ヲ止メテ(速記中止)
○委員長(男爵渡邊汀君) 速記ヲ始めテ
○男爵岩倉道俱君 私人簡單ニ賛成ノ意見ヲ述べタイ、私ハ此ノ三案ハ結構ダト思ヒマス、唯之ヲ賛成致シマスニ付テ、私個人トシテ將來一ツ斯クアリタイト云フコトヲ述べサシテ戴キタイ、分リ易ク申シマス、臺灣デ一萬尺ノ井戸ヲ日本石油會社並ニ臺灣鑛業會社ガ掘ッテ居ル、是ハ實ニ非常ニムツカシイ仕事デ、非常ニ固イ地盤ニ一萬尺ノ井戸ヲ掘ルト云フコトハ非常ニ困難ナ仕事デアアルノデスガ、此ノ兩會社ガ犧牲ヲ忍ンデ、臺灣ニ「ガス」ガアルカラ大キナ油ガアルダラウト云フコトデヤッテ居ラレルノデスカ、是等ノコトハ實ハ性質カラ謂フト國家的の自身ガ爲スモノデハナイカト云フコトヲ思ッテ居ル、現ニ臺灣鑛業會社ガ幸ニ金二分配當ヲ爲シ得ルノヲ配當ヲ八分ニ留メマシテ、四分ノ金ヲ以テ一萬尺ノ井戸ヲ掘ッテ居ラレルコトハ、是ハ實ニ立派ナコトダト思フノデスガ、是ハ何時カ知レマセヌガ、一番金ノ掛カル探鑛、井戸ヲ掘ルト云フヤウナコトハ、是ハ國家ノ手ニ統一シタイ、此ノ製油事業トソレカラ油ヲ賣ルト云フヤウナコトハ、是ハ民間ノ事業ニ委シテ宜イト思フガ、何時カハ石油ヲ掘ルト云フコトハ所謂國家自身ノ手ニ纏メテ戴キタイト云フ意味ノ希望ヲ附ケマシテ、此ノ案ニ賛成シタイト思ヒマス、ト言フノハ、實ハ非常ナタシナイ技術ト非常ニタシナイ機材ヲ使ワ上ニ一番有效ナ方法デハナイカト思ヒマス、將來ノ目標トシテハ斯ウ云フコトヲ政府ガ考ヘテ戴キタイト云フコトヲ希望トシテ此ノ案ニ賛成致シマス

○倉知鐵吉君 私モ三案ニ賛成致シマス
○子爵安藤信昭君 私モ此ノ三案ニ賛成スルモノデアリマシテ、今希望ヲチヨット申上ゲテ置キタイ、此ノ度設立サレマスル會社ノ株主ハ、既說ノ石油會社及鑛業權者ニ相當ノ株式ヲ所有セシメテ、帝國石油會社ト鑛業權者ノ間ヲ緊密ナラシメ、石油鑛業者ヲシテ帝國石油會社ニ鑛區ヲ提供セシメ、相協力シテ資源開發ヲ爲サシムル、之ヲ希望トシテ申上ゲテ置キマス

○委員長(男爵渡邊汀君) 他ニ御發言ゴザイマセスカ……ソレデハナイト認メマス、ソレデハ採決ニ移リマス、以上三案ヲ一括致シマシテ、賛成ノ委員ノ方ハ御起立ヲ願ヒマス
(總員起立)
○委員長(男爵渡邊汀君) 全會一致ト認メマス、ソレデハ衆議院送付ニ係ル此ノ三案ハ可決サレマシタ、是デ散會致シマス
午後五時三十分散會
出席者左ノ如シ
委員長 男爵渡邊 汀君
副委員長 子爵河瀨 眞君
委員 公爵桂 廣太郎君
侯爵西郷 從德君
伯爵柳澤 保承君
子爵安藤 信昭君
子爵綾小路 護君
男爵岩倉 道俱君
男爵宮原 旭君
橋本圭三郎君
倉知 鐵吉君
竹内 可吉君
內藤 久寬君
松本勝太郎君
出光 佐三君
飯塚 知信君

政府委員

野田六左衛門君

專賣局長官 花田 政春君

商工次官 小島 新一君

燃料局長官 東 榮二君

燃料局事務官 波江野 繁君

同 柳原 博光君

厚生省職業局長 內藤 寛一君

説明員

内務技手 中澤 秀一君

昭和十六年三月一日印刷

昭和十六年三月二日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局